

## 班別意見交流で出された意見

### 1 班

#### 活動のよいところ（アピールしたい点など）

- 「交流」を大切にしていきたい。
  - ・ 地域の行事(山の神等)の時にガイドになる。
    - 地域の方との交流により、お互い勉強になる。
  - ・ 住民同士の交流を図っています。
- 道路整備に繋がりたい。
  - ・ 平城遷都 1300 年に合せて平城京と藤原京を結ぶ道路整備を目指している。
- みんなの熱意が活動の源です。
  - ・ パワフルな会員が集まってマップやコース作りをすると楽しい。
  - ・ 花好きの会員が里親になって、道路沿い 3km の花街道を作っています。

#### 活動で困っていること、苦労している点など

- 資金を集めるのが結構、大変。
  - ・ 特に、スタート時の資金が問題。
    - スタート時の資金は、国土交通省など結構メニューもあるよ～。後で情報交換しましょう。
- 何をするにも、「地域住民の理解と意識」が大事です。
  - ・ 風景街道メイン道路が計画道路となっており、見直しに対する住民の関心が低い。
  - ・ 幅 4 m の狭い道に車が通るが、歩行空間に変えたり、一方通行にしたりする場合、沿道住民の関心、理解が大切である。
  - ・ 沿道の看板が醜いときに、看板撤去を進める場合も沿道住民の理解と意識が重要。
- 古い町並みの保存と活用を何とかしたい。
  - ・ 空き家が増えてきている（2007 年問題）。
    - 団塊の世代に来てもらえるような仕掛けを考えてはどうか。
- 観光のまちにしたいくない。（住みたいまちづくりがまず、大切である）
- 活動の仲間や参加者を増やしたいのですが、困っています。
  - ・ 若い人の参加が少ない。
  - ・ これからどうしていくか(目的, 予算)が明確でなく、マンネリ化のため会員が減ってきた。
  - ・ メイン道路沿い以外の住民をまきこむことが難しい。
  - ・ 自分たちの町をガイドできるようにしていきたい。
  - ・ 高齢化で会員の確保が問題です。
  - ・ 参加者を増やしたい。

#### 県境を越えて一緒にしたいこと

- ① 紀伊半島の PR が大切である。
  - ・ I-Pod など携帯媒体でも見ることができるよう情報発信を三県でするのも有効である。
  - ・ 癒しともてなしの紀伊半島を PR したい。
- ② 紀州候参勤交代ウォークイベントをしてみたい。
  - ・ 道路の物語を掘り起こし、道路にストーリーを持たせて、地域に親しみを持ってもらいたい。

- ・ 行政の境目をなくしていきたい。
- ③案内板デザイン統一をしたい。
  - ・ 現在は案内板や道標のデザインがバラバラ。
  - ・ 熊野街道の統一マークを創りたい。
  - 中部地整と近畿地整や県間など行政の管轄をこえた連携が重要。三県の NPO など民間で連携して、行政へ提言を出すなどが有効ではないか。
- ④継続的な「勉強会(古民家,歴史など)」が大切である。
  - ・ 今回の交流会ような交流の場、勉強の場を継続していくことが大切である。
  - ・ 今回のような交流の場によって、人的ネットワークが形成される。
- ⑤紀伊半島広域に連携して、海外からの観光客も誘致したい。
- ⑥B 級観光スポットの紹介が意外と喜ばれる。ガイドするときはそんな視点での紹介も大切である。

## 2 班

### 活動のよいところ (アピールしたい点など)

- 他団体との協働が進んでいます。
  - ・ 町内の各種団体との協働の場ができてきた。
  - ・ グループや人の性格の違いを認め合って活動しています。
  - ・ 交流会を実施しています。
  - ・ 他団体が行うボランティアやイベントに参加し、人のつながりやネットワークを大切にしています。
  - ・ 行政、企業、地域住民と一緒にクリーン作戦をしています。
- 地域資源の掘り起こしをしています。
  - ・ 観光地ではないが、地域資源の掘り起こしをしています。
  - ・ 歴史資料を活用して郷里の誇りともてなしの心、心いきづく町づくりをしています。
    - ← 江戸中期の検地絵図、役行者
  - ・ 世界遺産には登録されませんが、熊野古道があります。
- 広域連携を進めています。
  - ・ 京阪神を中心に PR 活動を手伝っています。
  - ・ 広域情報交換の場作りをしています。
- 花植えを工夫しています。
  - ・ 種から育てて花植えをしています。

### 活動で困っていること、苦労している点など

- 人材不足、高齢化、指導者不足に困っています。
  - 私たちの団体ではこういう取組みを実施して対応しています。
    - ・ 他団体との協働の体制をつくり、活動しています。
    - ・ 子どもたちとの協働を実施しています。
    - ・ 指導者の育成講座を開催しています。
- 獣害に困っています。

- ・ 活動で育てた植栽等が、獣害にあい、対策に困っています。(対策資金面等)
- 道路の利便性を高めることが課題です。
  - ・ 道路に案内標識(自動車用)が少ない。
  - ・ 生活空間としての道路整備をしてほしい。
  - ・ 駐車場やトイレを広くしてほしい。
- 地域にとって望まれるものにしたい。
  - ・ 地域が望む観光PRの方法が難しい。
  - ・ 地域の人々の理解、活動への動機づけが難しい。

### 県境を越えて一緒にしたいこと

- 交流会の開催をしたい。
  - ・ 地域間交流、意見交換、情報交換をしたい。
- この地域の自動車ナンバーを「熊野古道」にしたい。
- 花づくり活動の協力・連携した活動をしたい。
  - ・ 同じ日に一斉清掃活動を実施したい。

## 3班

### 活動のよいところ(アピールしたい点など)

- 景観への意識した活動が高まっています。
  - ・ 昭和30~40年代の町並みを復元するため、古民家の保存再生をしています。
  - ・ ガードレールを茶色にボランティアで塗っています。
  - ・ 民の自発的なブランを形にしています。
  - ・ 電線の地中化も考えていきたい。
- 魅力を再発見し伝えていきます。
  - ・ 伊勢街道を歩くことにより、その地域の文化を知り、自分の地域の良さを再発見しています。
  - ・ 田辺再発見ウォークで地域内外の方に知られざる郷土の良さを知ってもらいます。
  - ・ 地域の食文化や生活文化を紹介しています。
  - ・ 伊勢街道の紹介本の配布を通じて街道歴史を伝えています。
  - ・ ガイドマップを作成しています。
  - ・ 世界遺産登録により、地域を訪れる方が増えてきています。
  - ・ 十一面観音を中心にした町づくりを「楽しく」をモットーにしています。
  - ・ 伊勢街道を歩く人を案内しています。
- 自然を大切にし、まちをきれいに保っています。
  - ・ 自然が多く残っています。
  - ・ 川の自然景観をアピールしています。
  - ・ 上流から流れてくるゴミを年1回、清掃しています。
- 広域的連携を進めています。
  - ・ 街道ウォークをしています。
  - ・ 行政境を越えて広域的に多くの方が活動しています。
- 花によるおもてなしをしています
  - ・ 花イベントをしています。

- ・ 国道 42 号沿いに花桃を植栽して、観光客から喜ばれています。
  - ・ 花植えをみんなで協力して笑顔で楽しくしています。
- 歴史や文化を保存、継承、再生する取組をしています。
    - ・ 古道保存活動をしています。
    - ・ 伝統の川舟文化の継承をする活動しています。
    - ・ 花の窟神社の例大祭の祭典を推進しています。

### 活動で困っていること、苦労している点など

- 情報発信で悩んでいます。
  - ・ ホームページやブログで情報発信していますが、効果がよくわからない。
  - ・ 広域な風景街道のルートは、地域の方々にもっと知ってもらいたい。
- 活動資金不足です。
- 事務作業が大変です。
  - ・ 国の支援などを受けようとすると書類が多い。
- なかなか人が集まりません。
  - ・ 風景街道を説明してもなかなかわかってもらえない。
  - ・ 広域ルートの各ポイントでつなぐ人が参加してほしい。
  - ・ 若い世代の人の参加が少ない。
  - ・ 商店街の人をまきこみたい。
  - ・ 自分たちの住む町の歴史を知らない人が多い。
  - ・ メンバーが高齢化しています。
  - ・ 一緒に活動してもらえるメンバーをつくりたい。
  - ・ 景観について住民の理解がほしい。
- 行政の対応に悩んでいます。
  - ・ 地元行政の無関心、対応が悪い。
  - ・ 国の支援に制約があるため、本当にしたいことができない。
- その他
  - ・ 道路に案内標識が少ない。
  - ・ 川の水量が少なくなってきている。
  - ・ 川では上流のゴミが流れてくる。

### 県境を越えて一緒にしたいこと

- 交流会を行いたい。
  - ・ 街道沿いの交流会や先進事例の話し合う場がほしい。
  - ・ 他のルートのことを知りたい。
  - ・ 紀伊半島交流会議の復活を望む。
  - ・ 街道サポーターのネットワークを創りたい。
- 連携イベントをしてみたい
  - ・ 日本風景街道三県リレーウォークをしたい。
  - ・ 紀伊半島一周ウォークをしたい。
  - ・ 平城遷都 1300 年を契機に風景街道で連携したイベントをしてみたい。

- ・ 県境意識をなくして取り組みたい。
  - ・ 周遊ルートを提案したい。
- PR を充実させたい
    - ・ 効果的な相互 PR を考えたい。
    - ・ 長期間旅行用の紀伊半島ガイドブックを作りたい。
  - 別ルートの登録
    - ・ 十津川地域や小辺路、奥駆路も登録できないか？
  - その他
    - ・ 宿泊所や案内所を一定の基準で設置できないか？

## 4 班

### 活動のよいところ（アピールしたい点など）

- 花植え活動をしています。
  - ・ 地域外の人も参加して、プランターの設置、除草、清掃をしています。
    - その地域に愛着を持つ人を増やして、参加いただいています。
    - 風景街道など行政と協働することによって信用度がアップし、会員が増えました。
  - ・ 桜の山を動かそうとボランティアに参加してもらって、桜の植樹をしています。
    - いままでしていたことを、風景街道が後押ししてくれた感じがします。
  - ・ 国道沿いの花を 100 名以上の会員が里親になって育てています。
    - 熊野に来た方がこの花をみて、ご苦労さん言ってくれたりすることがうれしい。
  - ・ 熊野街道の中井町通りに朝顔を咲かせています。
    - 朝顔は紀州藩ゆかりのものであり、昔の通りを再生しています。
  - ・ 街道沿いで桜の植樹をしています。
- 地域内外のつながりづくりや PR 活動をしています。
  - ・ 語り部友の会活動や古道保存活動の協働・支援をしています。
    - 人材育成をして、継続性を持たせています。
  - ・ 地域学としての熊野学を地域外の研究者とも連携したり、都市部でフォーラムなどを行います。
  - ・ インターネットを活用した観光情報の発信をしています。
    - 風景街道もビジネス化に取り組み、継続性をもたせていきたい。
- 自分たちが楽しく、遊ぶということを大切にして、町づくりをしています。
  - ・ 大学の先生などと地域住民などが鎮守の森を歩き、地域再発見をします。
    - 事務局も参加し、一緒になって新たな発見があるので面白い。
  - ・ 昔のレトロな自転車でレンタサイクルをしています。現在ポスター再考中。
  - ・ 影絵を小学生の親子を集めてしました。
  - ・ 世界遺産登録記念日や大晦日に行灯を飾ったり、七夕飾りなどを行っています。
  - ・ 松本峠熊野市部会は、自治会や古道保存会、語り部の会、ボランティアグループなどが集まって、熊野街道を中心としたまちづくりを進めています。
  - ・ 小学校の総合学習で自分の町を調べます。
  - ・ 民家を使ったイベントをしたり、駅前広場の活用を考えています。

### 活動で困っていること、苦労している点など

- 資金不足に困っています。

- 人材不足に困っています
  - ・ 同じ人がいろいろな活動に参加することになっています。
  - ・ 高齢化なので、若い人がメンバーになってほしい。
  - ・ キーマンが少ない。
  - ・ 会の結束が基本と考えます。

- 住民の参加が課題です。
  - ・ なかなか集められない。
  - ・ 建設関係の人が関わりにくい。(公私の誤解が生じる)

- 周辺の実情に悩んでいます
  - ・ 夏の川遊びは最高ですが、ゴミが残されてしまいます。
  - ・ 商店街に空き店舗が目立ってきています。
  - ・ 遊休農地を活用したい。

- 行政との関係で困っています
  - ・ 行政の役割が不明確です。
  - ・ 担当者の人材不足があります。
  - ・ 消極的な行政もあります。

#### 県境を越えて一緒にしたいこと

- もっと交流を深め、知り合いたい。
  - ・ 年に1～2回交流会があると活動の励みになる。
  - ・ 各ルートの見学会をしたい。
  - ・ ホームページやメーリングリストで情報交換、情報共有をしたい。
- 一緒に活動してみたい。
  - ・ スタンプラリー
  - ・ 小中学生の県境を越えた体験学習
  - ・ 道路のゴミ回収
  - ・ それぞれのパンフレットをお互いに置きたい
  - ・ それぞれの関連した取組をまとめテーマを設けて連携したい
  - ・ 観光商品の開発
  - ・ 国道168号など現在ルートになっていないところも声がけしてルートが作ればいい。
- 行政同士のコラボレーションをしてほしい。